

キャラクター名
カーナ・ヤン・ザッカーバーク

プレイヤー名

シンドローム	バロール サラマンダー		ワークス	守護獣神官	カヴァー	渡り鳥
	オプション		年齢	25歳	性別	女性
覚醒	渴望	衝動	憎悪	初期侵食率	35	%
出自	名家の生まれ	経験	夢見	邂逅	ラクウェル・A	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	2		0			2	行動値	9
感覚	1		0			1	(非装備時)	9
精神	3	1	3			7	戦闘移動	14
社会	2		0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:守護獣	2		情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	2r	0	-5		
グラヴィトン(99↓)	RC	7r+4		4		侵蝕6 C:バロール+黒の鉄槌+因果歪曲
マーシレスクイーン(100↑)	RC	7r+4		21		侵蝕10 C:バロール+黒の鉄槌+因果歪曲+プラズマカノン

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 渡り鳥	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費
父親	P 庇護	N 不安	
セレスドゥ(夢の中の誰か)	P 尽力	N 食傷	
ラクウェル・アップルゲイト	P 傾倒	N 不安	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 8 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセプト:バロール	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-LV(下限7)								
黒の鉄槌	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*2+2]射撃攻撃。至近不可								
因果歪曲	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: 範囲(選択)に シナリオLV回まで								
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動(飛行)								
プラズマカノン	2	4	メジャー	視界	単体	対決	100	
効果: 攻撃力+[LV*5]射撃攻撃								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

PL: 八坂神奈子
月の守護獣セレスドゥを奉ずる、バスカ出身の守護獣の神官。
年齢の割にはかなりちびっこで、子供と間違われて迷子扱いはされるのはお約束。要するに合法ロリである。
連綿と受け継がれる守護獣神官の家系に生まれた彼女は両親の寵愛を受けて育ち、彼女もまた守護獣神官、セレスドゥのそれになることを志した。
ある日彼女は、夢見(コンタクティ)の啓示を受ける。それも、彼女が崇拝する月の守護獣セレスドゥ直々の啓示であった。
それによると、カーナにはその生命を星に捧げることでものすごい力を発揮する『柱』としての能力が備わっているらしいようだ。
そんな不思議な夢を見て以来、彼女はバロールの力を持つオーヴァードとなった。
だが、その日から里の人々の視線は一変する。『柱』として世界のために命を捧げよと、里の人々から命を狙われるようになる。
むろんそれは肉親である母親も例外ではなく、彼女を筆頭として里の人々から命を狙われているためどこにも居場所がなくなってしまった。
そんな中で父親だけは彼女の味方でいてくれて、死の恐怖に怯えながらも父に守られていた。
そんな危険な日々なかで、父親はある日彼女に『渡り鳥として旅に出て、啓示を与えてくれた守護獣セレスドゥを自覚めさせよ』と命じる。
里で暮らすよりは非常に危険だが、その分経験になるかも知れない。何より今の彼女にはバスカでの居場所を失った。
信頼する父親の提案を飲んだ彼女は、敬愛する父の秘密裏のバックアップの元旅立ち、渡り鳥となったのだった。
(なお、彼女を渡り鳥として修行に出させたのはセレスドゥが裏で糸を引いていたからであり、つまり父親はカーナが柱だと知っているからこんなことした)
……しかし、極度の方向音痴であるため、目的地である朽ちた聖域を目指すもなかなかたどり着けずにあーだこーだで10年の歳月が過ぎた。
それに身体的な成長がよろしくなかったため、ゆく先々で子供に間違われてしまうのであった(なんと、体型も10年どころか10歳の頃からほとんど変わっていないらしい……実はエルウとかというのではなく、単なる成長不足のパターン)。
なので酒豪なのだが飲ませてもらえないこともしばしば。
一応口調からは大人の女性であることは伺えるが、やはり見た目が9割なのでそういう先入観を持たれてしまうものである。